

(様式例第11)

山陰労病発 第407号
平成 27年 9月24日

鳥取県知事 殿

住所 鳥取県米子市皆生新田1丁目8番1号
申請者 独立行政法人 労働者健康福祉
氏名 山陰労災病院 院長 大野 耕策



山陰労災病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成26年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア東館
氏名	独立行政法人 労働者健康福祉機構

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

山陰労災病院

3 所在の場所

〒683-8605 鳥取県米子市皆生新田1丁目8番1号	電話 (0859) 33-8181
--------------------------------	-------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	383床	383床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
高次治療室	(主な設備) 病床数 8床 救急蘇生装置 : 人工呼吸器 (ベンチペーター840) 2台 : PCPS (SP101) 1台 IABP (CS300) 1台 除細動器 : TEC-7731 1台 心電計 : カルディオスター 1台 呼吸循環監視装置 : セントラルモニター (CNS9601) 1台 ベットサイドモニター (BSM5105) 2台 ベットサイドモニター (BSM2303) 6台
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置 2台、グリコヘモグロビン分析装置、NH3分析装置、超低温フリーザー (-80℃)、低温フリーザー (-30℃)
細菌検査室	(主な設備) 安全キャビネット、冷蔵庫、恒温器オートクレープ、フリーザー、顕微鏡、遠心機、血液培養装置、細菌同定感性装置
病理検査室	(主な設備) 安全キャビネット、自動染色装置、インキュベータ×2、写真撮影装置、カセット印字機器、冷蔵庫、自動免疫染色装置、遠心機、局所排気装置×2、自動固定包埋装置×2、はかり、検体前処理装置 (包埋センター)、スライド印字器、顕微鏡×4、マイクローム、クリオスタット
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、無影灯、写真撮影装置、はかり、オートクレープ、電気カッター
研究室	(主な設備) 電子カルテ、プロジェクター、ホワイトボード、シャーカステン、腹部エコー、机、椅子
講義室	室数 2 室 収容定員 80 人
図書室	室数 1 室 蔵所数 4,000 冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 1 台 酸素ポンプ
医薬品情報管理室	[専用室] 床面積 10.8 m ²

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	64.6 %	算定期間	平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日
地域医療支援病院逆紹介率	99.0 %		
算出根拠	A : 紹介患者の数	}	人
	B : 初診患者の数		別紙参照
	C : 逆紹介患者の数		人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

〇〇
 《 支援病院紹介率・逆紹介率 》

	26/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27/1月	2月	3月	累計
支援病院率	59.3	65.6	62.6	66.5	58.6	66.5	72.1	68.4	75.3	60.6	65.7	57.1	64.6
① 初診料算定患者数	1,152	1,373	1,232	1,393	1,362	1,276	1,309	1,195	1,354	1,428	1,092	1,291	15,457
② 紹介初診患者数	465	513	511	565	511	509	622	492	470	412	457	531	6,058
③ 初診救急車搬入患者数	147	135	124	145	151	171	164	138	159	115	127	164	1,740
④ 休日・夜間初診患者数	201	435	265	363	306	312	241	303	512	592	221	147	3,903
⑤ 健診受診後、治療開始した患者数	20	21	27	30	33	28	41	35	59	41	48	50	433

支援病院率	91.5	93.5	90.1	81.6	79.5	98.2	97.8	101.8	138.6	114.4	112.2	104.2	99.0
⑥ 診療情報提供料算定件数	717	731	735	694	693	751	844	732	865	778	781	969	9,290

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考
	詳細は別紙のとおり		常勤	専従		
			非常勤	非専従		
			常勤	専従		
			非常勤	非専従		
			常勤	専従		
			非常勤	非専従		
			常勤	専従		
			非常勤	非専従		
			常勤	専従		
			非常勤	非専従		
			常勤	専従		
			非常勤	非専従		
			常勤	専従		
			非常勤	非専従		
			常勤	専従		
			非常勤	非専従		

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	34 床
専用病床	8 床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	40時間	
2	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
3	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
4	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
5	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
6	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
7	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
8	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
9	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
10	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
11	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
12	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
13	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
14	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
15	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
16	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
17	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
18	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
19	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
20	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
21	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
22	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
23	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
24	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
25	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
26	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
27	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
28	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
29	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
30	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	
31	"		{常勤} {非常勤} {専任} {従任}	"	

32	医師		非常勤	専任	40時間	
33	"		非常勤	専任	"	
34	"		非常勤	専任	"	
35	"		非常勤	専任	"	
36	"		非常勤	専任	"	
37	"		非常勤	専任	"	
38	"		非常勤	専任	"	
39	"		非常勤	専任	"	
40	"		非常勤	専任	"	
41	"		非常勤	専任	"	
42	"		非常勤	専任	"	
43	"		非常勤	専任	"	
44	"		非常勤	専任	"	
45	"		非常勤	専任	"	
46	"		非常勤	専任	"	
47	"		非常勤	専任	"	
48	"		非常勤	専任	"	
49	"		非常勤	専任	"	
50	"		非常勤	専任	"	
51	"		非常勤	専任	"	
52	"		非常勤	専任	"	
53	"		非常勤	専任	"	
54	"		非常勤	専任	"	
55	"		非常勤	専任	"	
56	"		非常勤	専任	"	
57	"		非常勤	専任	"	
58	"		非常勤	専任	"	
59	看護師		非常勤	専任	"	
60	"		非常勤	専任	"	
61	"		非常勤	専任	"	
62	"		非常勤	専任	"	
63	"		非常勤	専任	"	
64	"		非常勤	専任	"	
65	"		非常勤	専任	"	

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急処置室	210.6 m ²	(主な設備) 診察室、処置室	可
手術室(6室)	448.4 m ²	(主な設備) 移動型エックス線装置	〃
第14撮影室	70.95 m ²	(主な設備) 血管透視撮影装置	〃
第15撮影室	60.68 m ²	(主な設備) 血管透視撮影装置	〃
第16撮影室	48.53 m ²	(主な設備) 3Tテスラ MRI	〃
第12撮影室	33.5 m ²	(主な設備) 64列 CT	〃
中央検査室	461.4 m ²	(主な設備) 血液学的・生化学的・免疫学的・微生物学的検査装置	〃
高次治療室(HCU)8床	129.6 m ²	(主な設備) 救急蘇生装置他	〃

4 備考

救急告知病院	昭和55年4月11日
--------	------------

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	2,720 人 (1,526 人)
上記以外の救急患者の数	7,311 人 (2,541 人)
合計	10,031 人 (4,067 人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

★ 高額医療機器共同利用状況
(H26.4.1~H27.3.31)

- ・CT 63件
- ・RI 88件
- ・MRI 62件

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

- * 放射線科内 検査機器一式: MRI CT 血管撮影装置 シンチ 他
- * 内視鏡室内 検査機器一式: ファイバースコープ 他
- * 病室: 開放病床

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 有 無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名:

職種: 医師(副院長)

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
詳細は別紙の通り				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	5 床
--------------	-----

山陰労災病院共同利用規程

(目的)

第1条 この規程は、山陰労災病院が鳥取県西部医療圏における地域医療支援病院として、医療提供の効率化と医療の質向上に向けて一層の努力をしつつ、患者中心の一貫性のある医療提供と地域医療従事者の生涯研修に貢献すべく高額医療機器等の共同利用及び病院施設設備の開放を可能にし、地域医療のさらなる充実と発展に寄与することを目的とし、必要事項を定めるものとする。

(共同利用)

第2条 山陰労災病院は、鳥取県西部医療圏における全ての医師及び歯科医師に対する医療機器の共同利用のために施設設備を開放する。その際、病院及び職員は、医療機器の共同利用に関する活動を支援し、かつ便宜を図らなければならない。

2 共同利用に係る医療機器は、CT・MR・RI・一般撮影装置・血管撮影装置・超音波検査装置・脳波検査装置・内視鏡検査装置・気管支鏡検査装置・血液総合検査装置等とする。

(研修)

第3条 山陰労災病院は、鳥取県西部医療圏における医療従事者の研修活動を支援すると共に、その便宜を図らなければならない。

(1) 医師及び歯科医師に対し院内研究会・研修会、院内講演会等への参加の機会を設け、看護・リハビリテーション・介護等についての質向上に資するものとする。

(2) 看護職及び医療職等の医療従事者に対し、実務研修会等の機会を設け、看護・リハビリテーション・介護等について質向上に資するものとする。

(3) 各医療機関の事務職に対し、保険請求事務・業務改善等に関する研修の機会を設け、医療機関経営の合理化・効率化など事務的業務の向上に資するものとする。

(図書等の共同利用)

第4条 山陰労災病院は、鳥取県西部医療圏における医療従事者に対し、診療・研究・教育支援のために図書の閲覧、資料や情報などの提供をする。

附 則

この規程は、平成19年4月1日より適用する。

覚 書

平成 8 年 7 月

山陰労災病院

鳥取県西部医師会

覚 書

労働者健康福祉機構山陰労災病院(以下「甲」という。)と社団法人
鳥取県西部医師会(以下「乙」という。)とは、山陰労災病院開放
病床の運営に関する規約に基づき、甲及び乙が協力して開放病床の
円滑な運営を推進するために、本書2通を作成し、甲、乙記名捺印
のうえ、各1通を保有する。

平成16年4月1日

甲 鳥取県米子市皆生新田1-8-1

労働者健康福祉機構 山陰労災病院

院長 川崎 寛中

乙 鳥取県米子市久米町136

社団法人 鳥取県西部医師会

会長 魚谷 純

山陰労災病院開放病床の
運営に関する諸規定

平成 8 年 7 月

山陰労災病院

鳥取県西部医師会

山陰労災病院開放型病床運営要綱

(目 的)

第1条 この要綱は、山陰労災病院（以下「病院」という。）と鳥取県西部医師会（以下「医師会」という。）との協議により病院内に開放病床を設置し、相互に医学の進歩に対応し、医療技術の向上を図り、包括的で一貫性のある医療を住民に提供することを目的とする。

(業 務)

第2条 本要綱における開放病床とは、第4条による登録医が自ら病院に赴いて入院させた患者に対して、診療及び指導を病院医師と共同して行うことのできる病院内の病床をいう。

2 開放病床における診療及び看護は、病院の診療及び看護方針に基づき行うものとする。

(運営委員会)

第3条 開放病床の運営を有効且つ円滑にするために、山陰労災病院開放病床運営委員会（以下「運営委員会」という。）を設置する。

2 運営委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、運営委員会細則に定める。

(登録医)

第4条 開放病床を利用しようとする医師会会員は、所定の登録医申請書（様式1号）に記入のうえ、西部医師会長の推薦を経て病院長に提出するものとする。

2 病院長は、第3条に定める運営委員会に諮り登録を承認するものとする。病院長は、登録を承認された医師（以下「登録医」という。）に対して登録医証（様式2号）を交付するものとする。

3 登録の期間は、2年間とし、病院及び登録医双方に異存のない場合は、自動的に延長し、以後同様とする。
但し、病院長又は、医師会長が不相当と判断した場合は、第3条に定める委員会に諮り、登録を取り消すことができるものとする。
また、年度中途でも登録ができるものとする。

(診 療)

第5条 登録医は、別に定める山陰労災病院開放病床運営実施要領に基づき、自己の届出入院させた患者の診療及び指導を病院担当医師と共同して行うものとする。

(その他)

第6条 本要綱に定めるもののほか必要な事項は、運営委員会の議を経て病院長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成8年 7月 1日から実施する。

山陰労災病院開放病床運営実施要領

(開放病床の編成)

第1条 開放病床は、5床とする。

- 2 病院長は、開放病床の円滑な運営を図るため、病院医師を開放病床医長及び開放病床副医長に指名するものとする。
- 3 鳥取県西部医師会会長は、登録医の中から開放病床主任1名及び開放病床副主任1名を指名するものとする。

(患者の入院、退院)

第2条 登録医は、自己の診察した患者を開放病床に入院させようとするときは、開放病床入院依頼票(様式3号)を開放病床医長を経由して病院長に提出し、承認を受けるものとする。

- 2 開放病床医長は、開放病床に患者(以下「開放病床患者」という。)を收容するとともに病院長と協議し、病院の医師を開放病床担当医(以下「担当医」という。)に指名する。
また、登録医に対し、担当医を連絡するものとする。
- 3 入院期間は、原則として1ヵ月を限度とする。
- 4 退院の決定は、担当医、登録医及び開放病床医長の意見を聞いて、病院長が行うものとする。

(診療)

第3条 開放病床患者に関する診療は、病院長の管理下にあるものとする。

- 2 登録医の診療時間は、原則として、午後1時より午後3時まで(土曜日、日曜日及び祝祭日は、除く)の間とする。それ以外の時間帯において診療する場合は、予め開放病床医長に連絡するものとする。

(登録医の責務)

第4条 登録医は、病院規則を守るとともに病院内においては、所定の診察衣を着用し、名札をつけることとする。

- 2 登録医の過失により病院に損害を与えたときは、登録医は、賠償の責任を負わなければならない。
- 3 登録医は、病院が開催する学術的会合に出席し、生涯教育の研鑽に勤めるものとする。

(連絡会及び研究会)

第5条 登録医及び開放病院の関係者は、必要の都度連絡会及び症例検討会等の研究会を開催するものとする。

- 2 前項の連絡会及び研究会は、開放病床医長及び開放病床副医長が世話人として行うものとする。

(付属施設の利用)

第5条 登録医は、病院の指定する控室、図書室を利用することができるものとする。

(その他)

第6条 本要領に定めのない事項については、その都度協議することとする。

附 則
この要領は、平成8年 7月 1日から実施する。

山陰労災病院開放病床運営委員会細則

(目的)

第1条 山陰労災病院開放病床運営要綱第3条に基づく山陰労災病院開放病床運営委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項は、この細則の定めるところによるものとする。

(組織)

第2条 委員会は、委員長1名、副委員長2名、委員11名をもって組織する。

2 委員長は、山陰労災病院長、副委員長は、同病院副院長及び鳥取県西部医師会会長をあてることとする。

3 委員は、山陰労災病院 6名。
開放病床医長、同開放病床副医長、看護副部長、
開放病棟婦長（2名）、医事課長
登録医 5名
開放病床主任、同副主任、登録医（3名）を
あてるものとする。

(委員会)

第3条 委員会は、原則として、年4回開催するものとする。

2 委員長が必要と認めるときは、臨時に委員会を開催することができるものとする。

3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行するものとする。

5 委員会は、必要な場合に委員以外の者の出席を求め、その意見を聞くことができるものとする。

(審議事項)

第4条 委員会は、開放病床の運営管理に関する事項を審議するものとする。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、山陰労災病院医事課が行う。

(その他)

第6条 本細則に定めるもののほか必要な事項は、運営委員会の議を経て、委員長が定めるものとする。

附 則

本細則は、平成8年 7月 1日より実施する。

登録医師・歯科医師名簿

氏名	主たる 診療科	所属医療機関			地域医療支援 病院開設者との 経営上の関係
		医療機関名	開設者氏名	住所	
1	整形外科	赤松整形外科医院	赤松 凱彦	米子市富士見町2-10-3	無
2	内科	足立医院	足立 史郎	米子市淀江町淀江790	無
3	内科	安達医院	安達 敏明	米子市両三柳2048	無
4	脳外・外科	あだち脳神経外科クリニック	芦立 巖	米子市西福原1-1-12	無
5	内科	安部内科医院	安部 喬樹	米子市新開6-4-9	無
6	耳鼻科	阿部クリニック	阿部 博章	米子市福市2276-1	無
7	耳鼻咽喉科	荒川耳鼻咽喉科	荒川 雄司	米子市東福原6-12-43	無
8	内科	旗ヶ崎内科クリニック	石井 敏雄	米子市旗ヶ崎9-14-29	無
9	内科	石川内科胃腸科医院	石川 好明	米子市義方町14-5	無
10	内科	〃	〃	〃	無
11	内科	石田内科循環器科医院	石田 寿一	米子市夜見町1758-1	無
12	内科	潮医院	潮 晴美	西伯郡南部町天万1534-1	無
13	内科	岡崎内科医院	岡崎 幸男	米子市上福原2-17-20	無
14	内科	おおの小児科内科医院	大野 雅子	米子市西福原3-10-34	無
15	内科	真誠会セントラルクリニック	小田 貢	米子市河崎580	無
16	内科	越智内科医院	越智 勤	米子市加茂町1-21	無
17	内科	川田内科医院	川田 秀一	米子市皆生温泉1-4-1	無
18	内科	木下内科医院	木下 大吉	米子市河崎987	無
19	外科	キマチ・リハビリテーション病院	来海 秀和	西伯郡大山町當長755-5	無
20	内科	木村内科医院	木村 禎宏	米子市天神町2-35	無
21	皮膚科	木村皮膚科クリニック	木村 秀一朗	米子市東福原3-8-58	無
22	内科	クリ内科胃腸科クリニック	栗原 達郎	米子市西福原6-2-28	無
23	神経内科	大山口診療所	久野 宣年	西伯郡大山町末長483-3	無
24	内科	小竹内科循環器クリニック	小竹 寛	米子市角盤町2-101-6	無
25	内科	佐々木医院	佐々木 博史	西伯郡大山町田中646-1	無
26	内科	佐伯医院	佐伯 良人	日野郡江府町江尾1997	無
27	内科	弓場医院	山藤 靖展	米子市旗ヶ崎2-12-10	無
28	内科	下山医院	下山 晶士	米子市上福原5-5-43	無
29	精神	〃	〃	〃	無
30	内科	高田内科医院	高田 貢太郎	境港市東雲町7	無
31	外科	竹内医院	竹内 隆	米子市祇園町2-100	無
32	内科	飛田医院	飛田 義信	西伯郡伯耆町溝口243-2	無
33	〃	〃	〃	〃	無
34	内科	富長内科眼科クリニック	富長 将人	米子市東福原5-12-19	無
35	精神科	永見医院	永見 実	米子市久米町284-2	無
36	産婦人科	長田産科婦人科医院	長田 昭夫	米子市上後藤8-5-1	無
37	外科	新田外科胃腸科病院	新田 晴生	米子市中島2-1-46	無
38	内科	野口内科クリニック	野口 俊之	米子市角盤町4-5-2	無
39	内科	野坂医院	野坂 美仁	米子市上新印256-6	無
40	内科	野坂内科医院	野坂 康雄	米子市博労町1-48-3	無

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

地域医師会、保険医療機関、福祉機関、行政機関等と連携を図りながらレベルの向上を図る為各種研修会を行っている。
(詳細は別紙のとおり)

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	23 回
(2) (1) の合計研修者数	330 人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 有 無

イ 研修委員会設置の有無 有 無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役職等	臨床経験数	特記事項
	医 師	腎臓内科	副院長	32 年	教育責任者
	〃	循環器科	院長特別補佐	41 年	〃
	〃	神経内科	部長	24 年	〃
	〃	外科	副院長	33 年	〃
	〃	麻酔科	部長	31 年	〃
	〃	泌尿器科	部長	34 年	〃
	〃	耳鼻咽喉科	副院長	38 年	〃
	〃	糖尿病 代謝内科	部長	17 年	〃

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

平成26年度における地域医療従事者への研修会等

月	日	曜	参加人数 (院外)		研 修 項 目
4月	18	金	30名	(6)	糖尿病診療における最新治療戦略(学術講演会)
5月	8	木	18名	(0)	4科合同カンファレンス
	15	木	11名	(40)	女性ホルモン剤の使い方(産婦人科領域)
	24	土	11名	(61)	第50回中海REN楽会
7月	5	土	41名	(46)	専門職研修会(ひとを育てる秘訣)
	10	木	25名	(0)	4科合同カンファレンス
8月	8	金	21名	(3)	婦人科領域の疾患について(産婦人科領域)
	26	火	12名	(4)	不育症とヘパリンカルシウムの投与意義など(産婦人科領域)
	27	水	7名	(10)	西部地区心エコー研究会
9月	1	月	16名	(0)	糖尿病のチーム医療と地域連携
	11	木	17名	(0)	4科合同カンファレンス
10月	8	水	126名	(10)	「医薬品副作用被害救済制度」について
	22	水	19名	(10)	第2回 西部地区心エコー研究会
11月	13	木	30名	(0)	4科合同カンファレンス
	30	日	19名	(32)	腎不全・透析患者に関わるすべての在宅介護スタッフ及び医療ス
12月	5	金	51名	(3)	PICC導入の始め
1月	19	月	5名	(53)	地域連携バス運用連絡会
	27	火	11名	(4)	地域医療支援評議会 救急連絡部会
	28	水	11名	(13)	第3回 西部地区心エコー研究会
2月	5	木	12名	(5)	医療連携連絡会
3月	6	金	30名	(11)	高齢者喘息の特徴と最新治療(学術講演会)
	8	日	6名	(15)	西部地区心エコー研究会
	19	木	12名	(4)	介護福祉部会

平成26年度 山陰労災病院 職員教育・研修会実績一覧表

開催日	テーマ・内容	講師(役職等も記入)	対象	職種別職員参加人数										職員必修研修					
				医師	看護部	薬剤部	検査科	放射線科	リハビリ科	栄養管理室	その他の医療職	事務局	その他(法務・事務職等)	合計	アンケート等による評価の有無				
				4	44	3				1		4				4	56	×	
4月2日	医療安全研修会	亀田 医療安全管理者	新規採用全職員	4	44	3						1			4			56	×
4月2日	消防に関する研修(消火器の取扱い等訓練)	米子消防署員	新規採用全職員	4	44	3						1			4			56	×
8月1日	医療安全研修会 「死亡診断～死亡時画像診断(AI)と病理解剖の視点から」	内科部長 前田直人 放射線科技師 清水紀章 病理科部長 庄盛浩平	全職員	37	73	7	5	6	4					1	15			148	○
8月7日				3	60	5	10	4	3	3	1	1	1		1			90	○
8月11日				1	58	2	1	3	3	1				1			70	○	
2月16日	医療安全研修会 「高齢者の転倒転落を防ぐため～睡眠薬の薬理作用と服用時の注意点」	医療安全管理者 亀田西	全職員	7	113	11	5	6	7	3				4			157	○	
3月3日				3	52	3	4	4	3	1				2			72	○	
10月8日	医薬品安全研修会 「医薬品副作用被害救済制度について」	PMDA企画管理課長 野澤 勇一	全職員	17	68	16	5	1	1	1				16			136	○	
4月2日	感染防止対策研修会	目次感染管理者	新規採用全職員	4	44	3						1		4			56	×	
5月28日																			
6月4日	第18回院内感染対策研修会 「当院の感染対策に関するチータ」	ICT (ICMT・BCPIC) 認定看護師	全職員	17	8	234	14	17	13	14				4			336	○	
6月6日																			
11月7日	院内感染対策研修会 「PICCについて」	姫路中央病院 NST 松末 美樹	全職員	14	87	11	7	8	6	2				1			136	○	

11月19日	向上「伝達講習」		感染管理者 目次	全職員	2	66	2	8	4	4	2		16		104	○
11月28日	向上「伝達講習」		感染管理者 目次	全職員	2	41						3			49	○
2月9日	新型インフルエンザ等特別措置法と 個人防具の着脱		感染管理者 目次	全職員	9	14	2	2	1	1	1		2		32	○
4月2日	医療用酸素ガスについて		山陰酸素工業 取扱者	新規採用全職員	4	44	3				1		4		56	×
12月19日	医療用酸素ガスの取り扱い		山陰酸素工業 昌司定幸	全職員	2	22							9		36	×
4/8 5/23 6/12 8/20 6/25	人工呼吸器(ベネット840)		コヴイディエン 小貫 哲央	全職員	8	56							6		70	×
10月23日	輸液ポンプ・シリンジポンプ研修会		テルモ 石堂 正昭	全職員	1	55	1					4			61	○
8月21日	医療倫理研修 「生死の選択と いのちの視線～人が生きること を支える医療とは～」		鳥取大学医学部保健 学科准教授 藤 安至	全職員	6	81	9	1		6				8	111	○
3月16日	接退研修会		鳥取銀行取締役 山脇 彰子	全職員	2	38	8	3	5	4	1		15	26	103	○
8月20日	総合評価加算の職員研修		田辺三菱製薬 大江和人	全職員	1	6		1	1	1			28		38	×
4月4日	AEDハートスターターFR3Pro)		フクダ電子 加藤 光崇	2南職員		22									22	×
4月3日	輸液ポンプ・シリンジポンプ		臨床工学士 宮崎 健	新人看護職員		15									15	×
4月8日	シリンジポンプ		テルモ 石堂 正昭	医師・ 看護師	3	46						3			52	×
11月20日	人工呼吸器研修会		コヴイディエン 林 敦英	医師・ 看護師		27						3			30	×
4月18日	地域医療に関する研修会 「糖尿病診療における最新治療戦略」		岡山大学大学院 准教授 小川 大輔	全職員	10	5	2				2		7	4	30	○

10月22日	地域医療に関する研究会 「西部地域心エコー研究会」	病理科部長 庄盛 浩平	全職員	6															18	×	
11月13日	地域医療に関する研究会 「4科合同カンファレンス」	消化器内科 山下 太郎	全職員	16			1	5											25	×	
11月30日	地域医療に関する研究会 「腎不全・透析勉強会」	内科部長 中岡 明 久	全職員	5	30	8													51	×	
1月19日	地域医療連携バス運用連絡会学術集 会「大腿骨・脳卒中」	大野病院長	全職員	58															64	×	
1月28日	地域医療に関する研究会 「西部地域心エコー研究会」	鳥大中央検査部 宮木 真理	全職員	8			14												24	×	
3月6日	学術集会「高齢者喘息の特徴と最新 治療」	近畿大学 准教授 佐野博幸	全職員	18	6	9													41	×	
3月8日	地域医療に関する研究会 「西部地域心エコー研究会」	北播磨総合センター 濱口浩敏	全職員	5			16												21	×	
12月5日	NST研修会 「PICC導入の勧め」	大阪大学 教授 井上義文	全職員	15	24	8	1		1	5									54	○	
11/23~24	ろうさい緩和ケア研修	院内外フアシリテー ター	感染症に 携わる医 療従事者	8	3													1	12	○	
6月9日	褥瘡研修会 おむつについて	ニシウラ (kk) 西浦 伸忠	全職員		11				1										12	○	
6月23日	褥瘡研修会 おむつの選び方・ あてかた	ニシウラ (kk) 西浦 伸忠	看護師		19														19	○	
8月11日	褥瘡研修会 DESIGN-Rについて	皮膚排泄認定看護師 阿部安子	看護師		9														9	○	
9月8日	褥瘡研修会 褥瘡と栄養につい て	栄養管理士 村上理絵	看護師		21														21	○	
10月20日	褥瘡研修会 軟膏及び皮膚保護 剤の選択について	皮膚科部長 三島エリカ	看護師		43														43	○	
11月10日	褥瘡研修会 DESIGN-Rをつける	皮膚排泄認定看護師 阿部安子	看護師		12														12	○	
なし	医療情報に関する研究会																				
2月7日	TQM活動院内発表会	各部署代表	全職員	6	92	9	7	12	11	1								10	28	176	○

2月26日	体液液保存による細胞変化 遅延電位について	心室	福田・石杉検査技師	検査部						15					15	×
3月19日	心工コーンについて		検査科部長 藤田晋一	検査部						15					15	×
5月15日	女性ホルモン剤の使い方		産婦人科部長 岩部富雄	薬剤部											51	×
8月8日	婦人科領域の疾患について		産婦人科部長 岩部富雄	薬剤部・ 薬部											24	×
8月26日	へパリンカルシウム皮下注について		持田製薬	薬部・ 薬部											16	×
6月27日	感染管理コース 職業感染 針刺し・血液暴露防止対 策		感染防止管理者 目次	看護師					16						16	○
7月25日	感染管理コース 標準予防策・感染経路別予防策		感染防止管理者 目次	看護師					16						16	○
8月22日	感染管理コース 手指衛生		感染防止管理者 目次	看護師					20						20	○
9月16日	感染管理コース 流行性ウィ ルス疾患		感染防止管理者 目次	看護師					20						20	○
10月24日	感染管理コース 感染性胃腸 炎		感染防止管理者 目次	看護師					21						21	○
12月26日	感染管理コース 抗菌薬、細 菌検査		感染防止管理者 目次	看護師					16						16	○
1月23日	感染管理コース KYT 感染管理の		感染防止管理者 目次	看護師					14						14	○
2月27日	感染管理コース 腕試し 感染管理の		感染防止管理者 目次	看護師					11						11	○
															3,789	

平成26 (2014) 年度 健康講話

回数	月日	演 題	演 者	診療科・所属	聴講人数
193回	4月21日	坐骨神経痛のお話	小畑哲哉	整形外科副部長	48
194回	5月28日	役に立つジエネリック薬のお話	長谷川千絵	薬剤部	8
195回	6月26日	てんかん発作って？	近藤慎二	脳神経外科部長	17
196回	7月16日	尿潜血と血尿について	田路澄代	泌尿器科副部長	20
197回	8月6日	病気の子どもを預かる時に気をつけること	飯塚俊之	小児科部長	7
198回	9月18日	50代からのよくわかる産婦人科疾患	岩部富夫	産婦人科部長	8
199回	10月23日	睡眠時無呼吸症候群って何？	門脇敬一	第二耳鼻咽喉科部長	15
200回	11月20日	よくわかる耳鼻咽喉の救急処置	杉原三郎	第一耳鼻咽喉科部長	14
201回	12月18日	やさしい尿検査の話	石田千尋	腎臓内科	10
202回	1月29日	腹腔鏡下胃切除術の進歩	山根成之	第二外科部長	12
203回	2月13日	よくわかる腰部脊柱管狭窄症のお話	楠城誉朗	脊椎整形外科部長	55
204回	3月24日	やさしい脳卒中のお話と鳥取県西部で行われている治療	小林智行	脳神経外科副部長	34
				平成26年度合計人数	248

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
3階 大会議室	120.5 m ²	(主な設備) 机、椅子、ホワイトボード、放送設備、 シャーカステン、プロジェクター
3階 小会議室	24.8 m ²	(主な設備) 机、椅子、ホワイトボード、放送設備
サンルーム	42.0 m ²	(主な設備) 机、椅子、シャーカステン、 プロジェクター

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 大野 耕策
管理担当者氏名	総務課長

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		総務課 医事課	日付順 ID順
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療 連携室	ファイル
	救急医療の提供の実績	医事課	ファイル
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	総務課 医事課	ファイル
	閲覧実績	総務課 医事課	ファイル
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療 連携室	ファイル

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	医事課長
閲覧担当者氏名	医事係長
閲覧の求めに応じる場所	医事課
<p>閲覧の手続の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 別表に定める病院の管理及び運営に関する諸記録（以下「諸記録」という。）の閲覧を請求できるものは、当院に患者を紹介しようとする医師及び歯科医師とする。 2. 諸記録の閲覧を請求しようとする者（以下「閲覧請求者」という。）は、所定の様式により閲覧の責任者（以下「閲覧責任者」という。）に申し出なければならない。 3. 閲覧責任者は、諸記録の閲覧が患者の秘密を害する恐れがある場合は、これを拒否することができる。 4. 閲覧責任者は、閲覧の請求を拒否した場合は、その旨を閲覧請求者に通知しなければならない。 <p>【別表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共同利用の実績 ・ 救急医療の提供の実績 ・ 地域医療の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実施 ・ 閲覧の実績 ・ 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績を明らかにする帳簿 	

前年度の総閲覧件数		— 件
閲覧者別	医師	件
	歯科医師	件
	地方公共団体	件
	その他	件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4 回	
委員会における議論の概要		
<ul style="list-style-type: none">* 救急医療の提供体制及び活動状況* 地域医療従事者に対する研修の実施* 地域保健向上のための予防医療にかかる事項* 各種連携バス利用状況* 医療提供後の介護・福祉との連携体制* 地域医療推進に必要な事項		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・病棟カンファレンス室
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	MSW
患者相談件数	実数 749件 延数 3,506件
患者相談の概要	
<ul style="list-style-type: none">* 心理的、社会的問題援助* 退院援助* 社会復帰援助* 受療援助* 経済的問題援助* 関係機関(者)との連携・協力・調整援助	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

平成26年度MSW患者相談実績内訳

相談支援内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心理的・社会的問題援助	6	7	8	3	4	4	8	7	9	7	6	8	77
退院援助	163	191	185	169	180	191	203	223	212	169	188	173	2247
社会復帰援助	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
受療援助	4	8	6	3	5	4	6	6	7	5	7	5	66
経済的問題援助	4	5	6	2	0	3	4	1	1	4	1	3	34
関係機関(者)との連携・協力・調整援助	80	84	83	81	91	70	89	91	113	81	99	118	1080
合計	257	296	288	258	280	273	310	328	342	266	301	307	3506

山陰労災病院 地域医療支援評議会
救急医療連絡部会

平成 27年 1月 27日 (火) 午後7時～

(於:山陰労災病院 2階 管理会議室)

独立行政法人 労働者健康福祉機構
山 陰 労 災 病 院

山陰労災病院 地域医療支援評議会 救急医療連絡部会次第

1. 開会挨拶 山陰労災病院 副院長 遠藤 哲
2. 院長挨拶 山陰労災病院 院長 大野 耕策
3. 救急部連絡部会 委員紹介 山陰労災病院 医事課長 久保 近敏
4. 救急部連絡部会 会長選出
5. 救急部連絡部会 会長挨拶
6. 議 事
 - (1) 救急外来における現状について 救急部長(外来部門) 野坂 仁愛
7. 意見・提案等

山陰労災病院 地域医療支援評議会 医療連携連絡部会次第

1. 開会挨拶
山陰労災病院 副院長 岸本 幸廣
2. 院長挨拶
山陰労災病院 院長 大野 耕策
3. 医療連携連絡部会 委員紹介
山陰労災病院 医事課長 久保 近敏
4. 医療連携連絡部会 会長選出
5. 医療連携連絡部会 会長挨拶
6. 議 事
 - (1) 地域医療連携室活動状況について
山陰労災病院 副院長 岸本 幸廣
(兼 地域連携室室長)
7. 意見・提案等

山陰労災病院 地域医療支援評議会
介護・福祉連絡部会

平成 27年 3月 19日 (木) 午後6時～

(於:山陰労災病院 2階 管理会議室)

独立行政法人 労働者健康福祉機構

山 陰 労 災 病 院

山陰労災病院 地域医療支援評議会 介護・福祉連絡部会次第

1. 開会挨拶 山陰労災病院 副院長 杉原 三郎
2. 院長挨拶 山陰労災病院 院長 大野 耕策
3. 介護・福祉連絡部会 委員紹介 山陰労災病院 医事課長 久保 近敏
4. 介護・福祉連絡部会 会長選出
5. 介護・福祉連絡部会 会長挨拶
6. 議 事
 - 1) 健康講和の開催状況について 入院係長 小日向 裕一
7. 審 議
 - 1) 介護・福祉関係施設との連携について
8. 意見・提案等